

# インフルエンザ

## (インフルエンザの合併症 トップ3)

### 1. インフルエンザ肺炎

**インフルエンザ肺炎の死亡率は約10%**

**幼少児と高齢者で高い**

インフルエンザによる死亡例は、殆どが二次感染による肺炎です  
肺炎のリスクが高いひとは、慢性心疾患や呼吸器疾患、糖尿病、腎臓病、免疫不全など  
長期療養施設入所者、65歳以上の高齢者



### 2. インフルエンザ脳症

**インフルエンザ脳症の死亡率は約30%、後遺症約30%**

**脳症患者のほとんどは1~5歳の幼小児**

日本人に多く、A型でもB型でも起こりうる  
インフルエンザ発熱後数時間から1日で痙攣、意識障害、異常行動がおき、その後重い障害が残ることがあります

### 3. インフルエンザ筋症

**6~8歳の男児に多い**

インフルエンザB型に多く発症  
インフルエンザ回復期に発症(発症後3日後以降が多い)  
ふくらはぎや下肢に痛みが強く、腎機能低下が問題となります

### ★異常行動

小児の異常行動は、タミフルによるものと言われてきました(薬剤誘発性)が、**実は遺伝子異常によるもの(インフルエンザ誘発性)**ということがわかりました

**次回はインフルエンザの予防についてです!**